

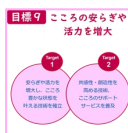
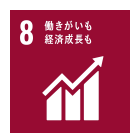
# 2024年度下期活動報告について

2025/3/31

NPO法人 Oita Social Innovation Laboratory  
ファウンダー 兼 ITコーディネータ 齊藤 周作



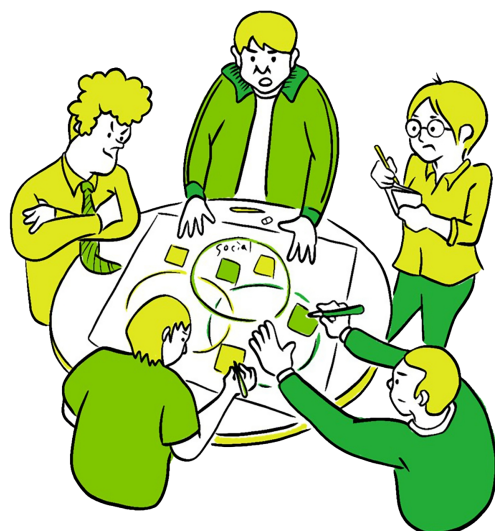
# 1. おしラボ。の活動



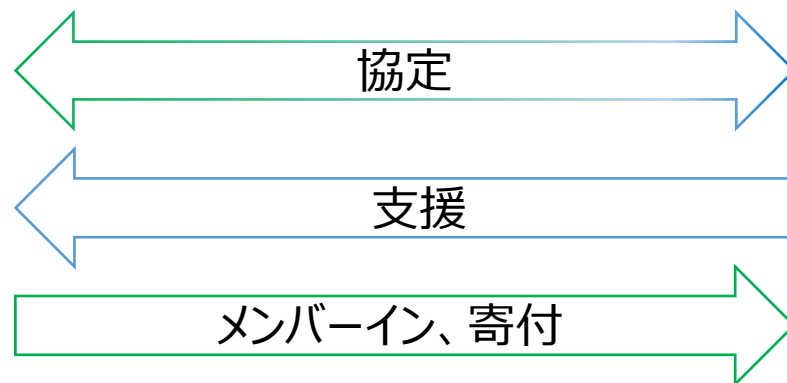
## ●設立目的●

- ・VUCA時代や30年後の未来(Society5.0/SDGs/GX)を見据えた 全く新しいビジネスアイデアを創造、融合させ、大分県独自の産業を新興させること
- ・大分県に超長期で地域に活力をもたらせるビジネスアイデアを集合させ、「競争」させる前に、先ずは「共創」させ、ビジネスモデルとして安全に離陸させること

大分県民や地域活性化を志す者に対して、  
これまでにない地域活性化ビジネスのデザイン、開発、テストの支援に関する事業を行い、  
大分県内にソーシャル・イノベーションを興す企業の組成に寄与する



社会課題に取り組む  
個人・企業・団体



社会課題に取り組む個人・企業・団体

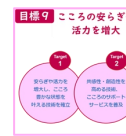
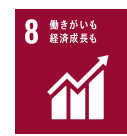


おしラボ。のメンバー  
(経営者、起業家、専門家、学生)

※大企業によるバックアップも現在準備中。



## 2. おしラボ。が目指すモノ・コト



### ●設立目的●

- ・VUCA時代や30年後の未来(Society5.0/SDGs/GX)を見据えた 全く新しいビジネスアイデアを創造、融合させ、大分県独自の産業を新興させること
- ・大分県に超長期で地域に活力をもたらせるビジネスアイデアを集合させ、「競争」させる前に、先ずは「共創」させ、ビジネスモデルとして安全に離陸させること

# 事業による公益の寄与 県内経済の発展

新規創業、雇用創出、域内消費の拡大、定住・移住の促進、  
地域経済エコシステムなど、またこれら好循環によるさらなるビジネスアイデア創出



社会課題に取り組む  
個人・企業・団体



社会課題に取り組む個人・企業・団体



おしラボ。のメンバー  
(経営者、起業家、専門家、学生)

※大企業によるバックアップも現在準備中。



# 3. 長期経営計画を策定しました

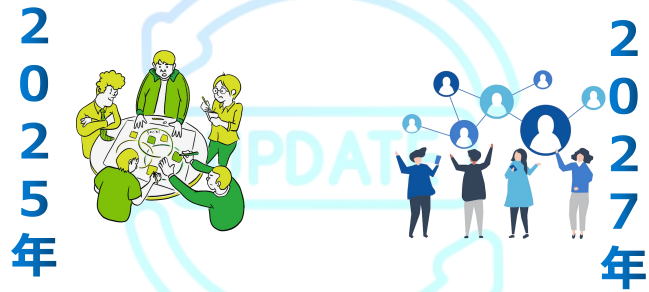


当法人設立目的達成に向けた、「方向性(経営)」の安定性、「行動計画(活動)」の推進力強化を兼ね備えた長期経営計画(10年後の“目指したい”姿/ロードマップ)を策定しました。設立目的を時系列に並べ、「**方向性(バックキャストिंग)**」として設定。事業内容を時系列に並べ、**行動計画(フォアキャストिंग)**として設定。おしラボ。としてのミッションを忘れずに、後述の中期経営計画に沿って行動します。

## <方向性>バックキャストिंग(Compass)

設立目的

超長期で地域に活力をもたらせる  
ビジネスアイデアを集合



事業内容

地域活性化を志す者の探索

設立目的

全く新しいビジネスアイデアを創造、融合  
「競争」の前に先ず「共創」



事業内容

これまでにない地域活性化ビジネスの  
デザイン、開発、テストの支援

設立目的

【おしラボ。の10年後の姿】  
大分県独自の産業を新興させる



事業内容

【おしラボ。の10年後の役割】  
大分県内にソーシャル・イノベーションを  
興す企業の組成に寄与

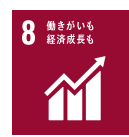
## <行動計画>フォアキャストिंग(Action)

ミッション

**事業による公益の寄与 = 県内経済の発展**

新規創業、雇用創出、域内消費の拡大、定住・移住の促進、地域経済エコシステムなど、またこれら好循環によるさらなるビジネスアイデア創出

# 4. 第一次中期経営計画を策定しました



10年後の“目指したい”姿を達成させるための、3年後の“あるべき”姿と目標(KGI&KPI)を設定する。今回は2025年度から2027年度の3年間の事業にて、S Xを軸とした、「超長期で地域に活力をもたらせるビジネスアイデアを集合」と「地域活性化を志す者の探索」をテーマに目標を立てました。

## テーマ①

超長期で地域に活力をもたらせる  
ビジネスアイデアを集合

2025年



2027年

## テーマ②

地域活性化を志す者の探索

目標：ビジネスアイデアの実務検証(ビジネスコンテストで評価)

KGI・・・3年で3回ビジコンに出場 / KPI・・・各事業毎に1回ビジコンに出場

### 3年後の“あるべき”姿

(取組)全く新しいビジネスアイデアを創造、融合、「競争」の前に先ず「共創」できる“ヒト(会員)”、“モノ(環境)”、“コト(アイデア)”が揃っている状況。→「方向性(経営)」の安定性を確保

(結果)安心して、これまでにない地域活性化ビジネスのデザイン、開発、テストの支援ができるようになる。

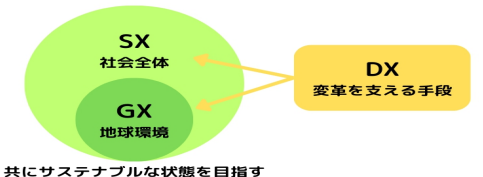
→「行動計画(活動)」の推進力強化を担保

ソーシャルイノベーションに必要な革新的取組み(トランスフォーメーション)の成果物 = SX(サステナブル・トランスフォーメーション)

社会のサステナビリティと企業のサステナビリティを「同期化」させていくこと及びそのために必要な経営・事業変革。(出典：経済産業省/伊藤レポート)

- ◆SDGsともに「持続的」という意味の言葉が包含。SDGsは持続的な社会、SXは持続的に稼ぐ力を指し、社会的価値と経済的価値という意味で違います。
- ◆GX(グリーン・トランスフォーメーション)はSXの一部であり、DX(デジタル・トランスフォーメーション)はSX/GXを推進する手段。

### SX・GX・DXの関係性



共にサステナブルな状態を目指す

©2023 SDGs media

目標：地域活性化をもたらすイノベーターやアントレプレナーなどをおしラボ。へ参画

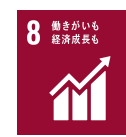
KGI・・・3年でおしラボ。会員が50名 / KPI・・・各事業毎に10名を参画

ミッション

事業による公益の寄与 = 県内経済の発展

新規創業、雇用創出、域内消費の拡大、定住・移住の促進、地域経済エコシステムなど、またこれら好循環によるさらなるビジネスアイデア創出

# 5. 活動状況（下期）



## 1. 活動内容

### (1) 2024年度事業計画書内の具体的な活動内容

No.	活動内容	結果	備考
1	OitaイノベーターズコレジオのOBや新規参加者にて本法人の対象となるイノベーション人財の発掘を図る	継続対応	OitaイノベーターズコレジオのOBや新規参加者以外にも、県内企業の経営者や新規事業開発実践者を中心に本NPO法人に参加。
2	可能な範囲で実現可能な事業アイデアのデザイン、ブラッシュアップを図る	済	AIを活用した社会課題解決策(ビジネスアイデア)をOita AI Challenge 2025ビジネスコンテストに挑戦(落選)
3	その他	—	別記、3案件(プロジェクト)について完了、対応中。

## 2. 案件(プロジェクト)

### (1) 完了

- ①大分県内のサービス提供企業、教育機関およびその生徒が所属する組織Bへのプロジェクト推進支援  
→支援終了。教育機関内で自走化を目指す。
- ②当法人の経営戦略  
→策定。2025年度から実行する。

### (2) 対応中

社会教育の推進を図る活動（イノベーション人財の発掘・教育）、経済活動の活性化を図る活動（オープンイノベーション支援活動）を通じ、ソーシャルイノベーションを興すこれまでにない地域活性化ビジネスのデザイン（ビジネスモデル構築）を实践。  
→2025年度中に本法人から特許庁宛に特許出願を目指す。



# 5. 活動状況（下期）



## 3. 活動サマリー

2024年10月1日(火) から 2025年3月31日(月)までの活動内容は下記のとおり。

No.	活動内容	日時・場所など		備考
1	金融機関取引開始①	2024/11/14	-	
2	長期経営計画 および 中期経営計画策定開始	2024/11/17	-	
3	A I を活用したビジネスコンテストに挑戦	2024/12/1	Oita AI Challenge 2025	落選
4	金融機関取引開始②	2025/1/6	-	
5	第2回理事会	2025/1/28	WEB会議にて	
6	ソーシャルイノベーションを興すこれまでにない地域活性化ビジネスのデザイン(ビジネスモデル構築)を教育機関にて発表	2025/1/29	非公開(大学内)	
7	No.6の社会実装のため特許取得を目標に出願準備開始	2025/2/5	-	
8	総会（当期事業報告、来期事業/予算計画、会計報告）	2025/3/29	WEB会議にて	



Oita Social Innovation  
Laboratory

I Choose, We Challenge, Oita Change

**わたし が (社会を)選択する**

**わたしたち が (社会へ)挑戦する**

**大分県 が (社会を)変える**

**おしラボ。**

**End Of Presentation.**